

困ったときにはこれを読め！

# 若い教師にすすめるブックリスト

授業づくり・学級づくり・子ども理解

2021.9.23原案  
リスト作成：太田一徹\*1  
HP編集：野村邦重\*2

| 1. 授業づくり |  | 書名 著者名  | 出版社・発行年<br>税込価格          | コメント   | 内容（目次など）  |
|----------|--|---|--------------------------|--|---|
| 1        |  | <b>教室は楽しい授業でいっぱいだ</b><br>子どもと創る「心はずむ」学びの世界<br>山崎 隆夫/著     | 高文研<br>2017<br>1,870円    | 私のクラスの子もたちと、私のクラスにしか生まれない授業を生みだしていこう。生きづらさを抱える今日の多様な子どもたちを教室で受けとめながら、温かな学級づくり、楽しく豊かな授業づくりを目指し日々努力をしてきた。                        | 第1部 楽しい教室、楽しい授業づくりの基本（こんな学級がいいね、楽しい授業づくりのために）<br>第2部 心はずむ学びの世界（子どもの世界をあそぶ、学びの旅のはじまりは、たんぽぽ、蝶が舞う基礎・基本一やさしく、ふかく、おもしろくわくわく、ときどき、話し合おうって楽しいな）<br>秘密を探る物語—みんな学びの探偵団 豊かに広がる学びの世界）<br>エピソード 心を捕えた一枚の写真—平和への思いを込めて                           |
| 2        |  | <b>「書くこと」の授業を豊かに作文教育で「アクティヴラーニング」の先へ</b><br>日本作文の会/編      | 本の泉社<br>2016<br>1,650円   | 書くことっていいね<br>—表現のある教室へ<br>自分の思いを自分の言葉で表現できる子どもたちへ<br>—束縛からの自由としての作文教育  | 1章 いま作文教育のすすめ<br>2章 「書くこと」の指導 日々の生活の中で<br>3章 「書くこと」の単元 授業づくりの工夫<br>4章 「読み合い」のすすめ<br>5章 「生きること」に向きあう   |
| 3        |  | <b>ぼくらは物語探偵団</b><br>まなびわくわくアニメーション<br>岩辺 泰史/編著            | 柏書房<br>1999<br>1,980円    | ゲーム世代の子どもを本好きにするアニメーションによる読書指導！<br>物語から詩・俳句まで、全国の教室で行われた読書ゲームの実例をタップリ紹介。   | 序章 まなびわくわくアニメーション<br>1章 物語でアニメーション（アナトール工場へ行くを探偵する 大砲の中のアヒルを探偵する ほか）<br>2章 社会科でアニメーション（イスラムを楽しく学ぶを探偵する 江戸市民100万人のうんこはどこへを探偵する ほか）<br>3章 詩でアニメーション（ふじさんとおひさまでゲームする）<br>俳句でアニメーション（俳句探偵団は総合だ！ 名探偵登場！ ほか）                              |
| 4        |  | <b>わくわく探偵団 動物園のアニメーション</b><br>佐藤 広也/著                     | 柏書房<br>2004<br>1,760円    | 驚きと発見のアニメーション探偵団がゆく。やってみよう！動物ビンゴ・足跡ゲット探偵団50まねっこ名探偵などのアクションゲーム。<br>動物の足跡ゲットの探偵団、動物ビンゴ、だっこ探偵団など、動物園での不思議を探偵するアクションプログラムを満載。      | 1章 動物園探偵団とはじめ<br>2章 動物ビンゴで名探偵！<br>3章 動物園アニメーション探偵団がゆく<br>4章 動物園探偵団結成！<br>5章 動物園で総合学習<br>6章 動物園探偵早見表   |
| 5        |  | <b>指名しなくてもどの子ども発言したくなる授業</b><br>今泉 博/著                    | 学陽書房<br>2005<br>2,090円   | 間違い・失敗を活かし子どもが生き生き学ぶ授業の創造。<br>子どもの間違い、失敗を積極的に評価し、間違い発言を対立・討論させて自然な発言を創り出し、子どもが学習が面白くなった記録。<br><b>●品切れのため購入不可、図書館で利用してください。</b> | 1 学びは夢をふくらませる<br>2 授業に集中できなかった子が意欲的になった！<br>3 間違い発言の積極的評価で授業は一変する<br>4 対立・討論で授業は活気づく<br>5 「手段としての教育」から「文化としての教育」へ<br>6 授業を創る視点<br>7 ここがもっと詳しく知りたいQ&A  |
| 2. 学級づくり |  | 書名 著者名  | 出版社・発行年<br>税込価格          | コメント   | 内容（目次）  |
| 1        |  | <b>マジリン先生の学級づくり たねあかし</b><br>土佐 いく子/著                     | フォーラムA<br>2013<br>2,090円 | 親といっしょに学級づくり。<br>学級づくりにすぐに役立つワークシート付き。   | その1 子どもが安心できる出会いをつくるたねあかし（子どもたちが見えますか？ 出会いの日をどうつくるか ほか）<br>その2 子どもが主人公の学級づくりのたねあかし（安心のある学級を、知ったことを知り合う関係へ ほか）<br>その3 親と仲良くできるたねあかし（先生と親 なぜ難しくなったのか 教師自らもふり返ってみたいこと ほか）<br>おまけ 先生も元気で生き生きできるたねあかし（子どもはこんな先生が好き そうそううまくはいかない仕事だから ほか） |
| 2        |  | <b>希望を生み出す教室</b><br>山崎 隆夫/著                               | 旬報社<br>2009<br>1,650円    | 学びが育てる“未来の芽”。荒れる、キレる、閉じこもる、パニックになる子どもたちとどう向き合うか。<br>子どもに寄り添う教師からのメッセージ。  | 第1章 子どもに手渡す“幸福な時間”<br>第2章 子ども心の危機を考える<br>第3章 子どもに寄り添うことから始めたい<br>第4章 学びあう教室のなかで子どもは変わる<br>第5章 子どもたちに“胸に染み入る”つながり  |
| 3        |  | <b>いじめのある世界に生きる君たちへ</b><br>いじめられっ子だった精神科医の贈る言葉<br>中井 久夫/著 | 中央公論新社<br>2016<br>1,320円 | 精神科医の卓越した人間論に裏づけされた「いじめ」論であり、学校関係者にも必読の書です。読むが読まないかで、いじめへの対応が変わります。深い「いじめ」論が、やさしく読める。精神科医が自身の体験をもとに綴ったパイプ。                     | 1 いじめは犯罪でないという幻想 5 無力化<br>2 いじめかどうかの見分け方 6 透明化<br>3 権力欲 7 無理難題<br>4 孤立化 8 安全の確保<br>日本を代表する精神科医、中井久夫の「いじめの政治学」を子ども読めるよう訳した。いわさきちひろの画とともにメッセージを贈る。  |
| 4        |  | <b>「二分の一成人式」で伝えたいいのちの話</b><br>未来を生きる君たちへ<br>鎌田 実/著        | 小学館<br>2014<br>1,100円    | 学童に「いのちを大切に、社会の未来につながるような生きかたをしてほしい」という鎌田先生のメッセージを伝え、大人に向けては、子どもとのコミュニケーションを通じていのちと向き合うことを提唱する内容。                              | 第1章 いのちの始まり<br>第2章 ほくが大人になるまで<br>第3章 何のために勉強するのか？タリバンに撃たれた女の子の話<br>第4章 差別と憎しみの連鎖<br>第5章 きみたちにもできることがある<br>第6章 ほんとうの「幸せ」って何だろう？  |
| 5        |  | <b>心育でのわらべうた</b><br>乳児から小学生まで年齢別指導・教材集<br>佐藤 志美子/著        | ひとなる書房<br>1996<br>2,350円 | 子ども心の豊かな広がりを育てるわらべうた85曲を収録。<br>全曲楽譜、イラスト、指導の手引きで解説。乳児から小学生までの年齢別指導教材集。   | 体を動かし、声を出して歌うという具体的な形で感動していくのが本来の子どもの姿。本書は、生き生きとした子どもたちの資質の向上に際して、わらべうたを紹介し、その指導の方法などを伝授する。<br>実践編 年齢別教材・指導集<br>理論編 教材としてのすぐれた特質と指導論について  |
| 3. 子ども理解 |  | 書名 著者名  | 出版社・発行年<br>税込価格          | コメント   | 内容（目次）  |

|   |   |  |                               |   |  |
|---|---|--|-------------------------------|---|--|
| 1 |    | <b>子ども理解の<br/>カンファレンス</b><br>育ちを支える現場の臨床教育学<br>福井 雅英/著     | かがわ出版<br>2009<br>1,760円       | 学校・幼稚園・保育園など発達支援の専門職に求められる子ども理解と実践力。<br>現E15.F19場の経験知を共有する方法をエピソードゆたかに解説。   | 序章 子ども理解と現場の育ち<br>第1章 その瞬間、子どもにどう対応したかー日常の中に専門性を探る<br>第2章 発達を援助する専門職に求められるもの<br>すべては子どもを深く理解することから<br>攻撃的感情を溶解させるものはなにか<br>子どもの生活世界と「いじめ」指導のリアリティ<br>第3章 現場がつくる臨床教育学   |
| 2 |    | <b>いのちのケアと育み</b><br>臨床教育学のまなざし<br>庄井 良信/著                  | かがわ出版<br>2014<br>1,650円       | いま、子どもや若者のかけがえない「いのち」そのものに、根源的な敬意をもって寄り添い、共存できる他者として伴走していくことが、私たちおとなや社会に求められているのではないだろうか。<br>そもそも、人間のいのちのケアと育みは、教育（education）の原義そのものでもあり、本書は、教育というとなみを、そのもっとも根源的な原義にふれて問い直してみようという試みでもあります。 | 1部 “弱さ”から読みとく教育の原点<br>（スロー・エデュケーションのすずめーゆっくり学べば心も動く、<br>翼の傷ついた白鳥ー援助者が「失敗を生きる」ということ、<br>“弱さ”へのいとおしみー臨床教育学の“原風景”として<br>揺れる思春期のいのちに伴走するー人生の問いに寄り添うとき）<br>2部 ケア・援助の専門性を問い直す<br>（ケアの専門性とはー他者理解と相互ケア、ケアし合うかかわり合い<br>ーその喜びとむずかしさ）<br>3部 フィンランドの教育改革に何を学ぶか |
| 3 |    | <b>生きることと<br/>自己肯定感</b><br>高垣 忠一郎/著                        | 新日本出版社<br>2004<br>1,650円      | 「自分が自分であって大丈夫」という自己肯定感の大切さを子どもたちに伝えるには。<br>おとなの生き方こそ問われていると語りかける。   | 第1部 子どもの問題と自己肯定感<br>ー「魂（いのち）の故郷」をもっていますか？<br>第2部 生きることと自己肯定感<br>ー「さようなら」と「こんにちは」の峠<br>人は自分の物語を創りながら生きる<br>「人生を生きること」と自己肯定感<br>第3部 平和と自己肯定感ー「大きな存在」に身をゆだねる  |
| 4 |   | <b>空が青いから<br/>白をえらんだのです</b><br>奈良少年刑務所詩集<br>寮 美千子/編著       | 新潮社<br>（新潮文庫）<br>2011<br>605円 | 受刑者たちが、そっと心の奥にしまっていた葛藤、悔恨、優しさ…。童話作家に導かれ、彼らの閉ざされた思いが「言葉」となって溢れ出た時、奇跡のような詩が生まれた。<br>美しい煉瓦建築の奈良少年刑務所の中で、受刑者が魔法にかかったように変わって行く。彼らは、一度も耕されたことのない荒地だったー「刑務所の教室」で受刑者に寄り添い続ける作家が選んだ、感動の57編。          | くも<br>金色<br>銀色<br>すきな色<br>黒<br>ほくのすきな色<br>夏の防波堤<br>ゆめ<br>夢と希望と挫折<br>朝だ仕事だ〔ほか〕  |
| 5 |  | <b>こころキャラ図鑑</b><br>「感情」と友だちになろう！<br>池谷 裕二/監修<br>クリハラ タカシ/絵 | 西東社<br>2020<br>1,320円         | こころと上手につき合うちからが身につく本。<br>人間の28の感情をキャラクター化！<br>対象年齢4～9歳。   | たのしい タヌシ〜ノ<br>いかり オコルジョ<br>かなしい カナシイラ<br>きらい ムカッピキ<br>おそれ オソレダー<br>おどろき オドロキヤット<br>うらみ ウラミンゴ<br>ぜつぼう ゼツボウス<br>にくい にくたらシープ<br>きょうふ コワイガニ〔ほか〕  |

\*1 太田 一徹（おた いってつ）  
北海道民間教育研究団体連絡協議会副会長、北海道文教育協議会委員  
北海道学びをつくる会世話人、北海道こどもセンター研究委員  
北海道教育大学非常勤講師

\*2 野村 邦重（のむら くにしげ）  
全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー  
北海道学校図書館協会事務局次長  
北海道教育大学非常勤講師、國學院大学北海道短期大学部非常勤講師